

しらぎぐん 新羅郡の 時代を探る

奈良・平安時代の成果品を一挙公開

11/15 (木) ▶ 12/2 (日)

埼玉県指定有形文化財「午垂山遺跡出土品」同時展示

和光市民文化センター
(サンアゼリア)
埼玉県和光市広沢1-5
展示ホール

開館時間 9:00~17:00 入場料 無料



写真：花ノ木遺跡住居跡出土状況（埼玉県教育委員会）
※武蔵国地図、新羅遺跡と宗教、シンポジウム開催の成立と機能―幡羅遺跡をめぐる諸問題―
より引用・改題（須田 2011）

記念シンポジウム

10:00 ~ 16:30 (受付 9:30)

参加費 無料

定員 200名 (先着順・定員に達し次第終了)

申込 10月10日(水)から11月22日(木)

電話・E-mail・窓口のいずれかの方法で

和光市教育委員会生涯学習課まで。

※E-mailでお申し込みの際は、件名を「記念シンポジウム申込」とし、本文中に参加される方の氏名・住所・電話番号を明記してください。

和光市 HP QRコード



I部 基調講演

武蔵国新羅郡誕生の歴史的背景について

講師：宮瀧交二氏（大東文化大学文学部教授）

II部 新羅琴と邦楽演奏

演奏：久本桂子氏（日本音楽集団）ほか

III部 基調報告 新羅郡域の遺跡

朝霞市の遺跡

講師：照林敏郎氏（朝霞市教育委員会）

志木市の遺跡

講師：大久保聡氏（志木市教育委員会）

新座市の遺跡

講師：川畑隼人氏（新座市教育委員会）

和光市の遺跡

講師：鈴木一郎（和光市教育委員会）

IV部 基調報告 新羅郡関連の状況

中武蔵の土器様相

―須恵器・土師器からみた新羅郡―

講師 根本 靖氏（所沢市教育委員会）

高麗郡建郡の背景

講師 中野高行氏（日本高麗浪漫学会理事）

幡羅郡と郡家跡

講師 知久裕昭氏（深谷市教育委員会）

V部 討論 新羅郡の時代を探る

・推定新羅郡域内の奈良平安時代遺跡の分布

・建郡期の集落遺跡

・新羅郡の中心地（郡家）の推定

・まとめ

◇導入・パネラー紹介：鈴木一郎

◇コーディネーター：宮瀧交二氏

◇パネラー：照林敏郎氏、大久保聡氏、川畑隼人氏、根本 靖氏、中野高行氏、知久裕昭氏



続日本紀（しょくにほんぎ）抜粋

【訳】 帰化した新羅僧 32人、尼 2人、男 19人、女 21人を武蔵国の未開発地に移住させた。ここに初めて新羅郡を設置した。（のち新座郡と改められる。）

関連シンポジウム情報

関東の明日香村～幡羅官衙遺跡群～
国史跡指定記念シンポジウム

『飛鳥時代の役所と地域社会』

11月10日(土)

深谷市民文化会館大ホール

問合せ：深谷市 文化振興課 TEL 048-577-4501

サンアゼリアは今年開館 25 周年を迎えます。これを記念して、このシンポジウムII部では、小ホールで「新羅琴と邦楽演奏」を行います。



瓦 (新座市教育委員会)



須恵器長頸瓶形土器 (朝霞市教育委員会)



須恵器円面碗 (和光市教育委員会)



須恵器坏形土器 (志木市教育委員会)



シンポジウム1日目

11/24 (土)

シンポジウム2日目

11/25 (日)